

薬剤部と中央検査部の連携による血液培養陽性患者へのAST 即時介入の効果

はじめに

甲南医療センター薬剤部では、血液培養が陽性となった患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

甲南医療センターでは、入院患者さんを対象として抗菌薬が正しく使用されているかの確認を行っております。近年、不適切な抗菌薬の使用により薬剤耐性菌の増加と、それに伴う感染症増加の問題がもたらされています。薬剤耐性菌の問題に対して有効な対策を講じなければ、2050年には全世界で1000万人が薬剤耐性菌により死亡することが推定されており、抗菌薬適正使用の推進は薬剤耐性菌の増加を防ぐ上で重要なものとなっております。そこで当院薬剤部では、中央検査部(微生物検査室)と協力し、血液培養の検査結果をリアルタイムに情報提供してもらい、その結果に基づいて抗菌薬使用状況を即時に確認する取り組みを行っています。この取り組みが抗菌薬適正使用をより推進出来る方法であると分かれば、今後の抗菌薬適正使用において大変有用です。そこで2021年6月1日～2023年5月31日の期間に血液培養陽性となった患者さんのデータをカルテから収集し、比較検討することで、本取り組みの有用性を探索する研究を実施することといたしました。

2. 研究期間

この研究は、当院倫理委員会承認日から2025年10月31日まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1)患者背景:性別、年齢、身長、体重、BMI
- 2)血液検査の結果:AST、ALT、eGFR
- 3)使用した抗菌薬、抗菌薬投与期間、抗菌薬投与量
- 4)抗菌薬を使用する目的である主疾患名
- 5)細菌培養結果
- 6)転帰

4. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、甲南医療センター薬剤部の鍵のかかる保管庫に保管します。

5. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

甲南医療センター 薬剤部 責任者:藤井 信太郎

6. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益……本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益……カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

7. 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から 10 年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

8. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

9. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、ご自身のデータを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、当該患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が学会発表などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合があります。

10. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

甲南医療センター 薬剤部 担当者:藤井 信太郎(研究責任者)

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ケ原1丁目5-16

TEL:078-851-2161

受付時間: 10:00 - 16:00 (土日祝日はのぞく)